

令和6年第2回議会臨時会

ロマン美術館前にトイレ付待合所

議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL



ロマン美術館前の長野電鉄バス停と切符売り場

令和6年第2回議会臨時会は、5月10日に開催されました。町側から、放棄した私債権の報告1件、専決処分の承認10件（5年度各会計補正予算7件、条例のみ）が提案され、すべて原案通り受理、承認、可決しました。

オーバーツーリズム防止・抑制策として

観光庁補助事業「オーバーツーリズム未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」を活用したロマン美術館周辺受入環境整備を行います。事業名は「スノーマンキーだけじゃない！山ノ内町観光受入環境整備&観光客分散大作戦」。ロマン美術館前の長野電鉄バス切符売り場がある場所にトイレ付待合所（ユニットハウス型の建物面積約80㎡）を新設します。事業費は4930万円（補助金1500万円）です。8月に工事着手、10月竣工予定となっております。また、案

第139号
令和6年7月25日 (2024)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページは
こちらから



フェイスブックは
こちらから



もくじ

令和6年第2回臨時会関連記事……………24
令和6年第3回定例会関連記事……………25
一般質問……………27
陳情・議会全員協議会……………37
管内視察報告……………38
フランスサン・ジェルヴェ・バン市
訪問報告……………40
みんなのひろば・編集後記……………41

内標識サイン看板（積雪時対応高所タイプ）も設置します。事業費は1991万円（50%補助）です。

《歳入の主なもの》

（国補）観光施設費補助金 1595万円
過疎債 3430万円
観光施設費 4969万円

専決処分の承認

5年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

保険給付費を大幅減額

11億5108万円としていた歳出の保険給付費は、10億847万円と大幅な減額補正となりました。

《歳入の主なもの》

県保険給付費等交付金 △1億3655万円
基金繰入金△1354万円

《歳出の主なもの》

保険給付費 △1億4260万円

5年度介護保険特別会計補正予算(第5号)

基金積立金に2137万円

17億5122万円としていた歳出の保険給付費は、17億122万円に5000万円の減額。これにより基金は、3624万円取り崩しを予定していましたが、

小林仁議員が本会議で謝罪とお詫び

教育委員会から議長あてに3月27日付で申入書「議員による教育行政への政治的圧力に対する抗議と問題解決に向けた対応について」が提出された件で、5月10日の本会議閉議前に小林仁議員から発言の申し出があり、教育委員および小学校統合準備委員会に対し「精神的苦痛を与えてしまった」事実を認め「猛省しており、衷心よりお詫び申し上げます」と謝罪しました。議長からは小林仁議員に対し、厳重注意がありました。

令和6年第3回議会定例会

補正予算審査 予算決算審査委員会に付託



まちづくり観光局が運営する湯田中駅とエキナカ

令和6年第3回議会定例会は6月4日から18日までの15日間の日程で開催されました。町側からは5年度各会計の繰越報告2件、専決処分報告1件、6年度一般財団法人山ノ内まちづくり観光局の事業計画及び予算の報告、町道路線の認定1件、6年度各会計補正予算2件、条例の一部改正3件、奥志賀高原地区地上権設定期間延長に伴う変更契約の締結、教育長の任命が提案され、すべて原案どおり受理、認定、可決、同意しました。

6年度一般会計補正予算(第3号) 海外留学支援金500万円追加

《歳入の主なもの》

新型コロナウイルス感染症 町観光局事業負担金 550万円

1億2940万円

持続可能な観光計画策定支援事業 250万円

企業版ふるさと寄附金 300万円

財政調整基金繰入金 1953万円

《歳出の主なもの》

定額減税補正給付金(調整給付) 6000万円

物価高騰対応子育て世帯交付金(5万円/人) 500万円

物価高騰対応非課税世帯交付金(10万円/世帯) 3000万円

物価高騰対応均等割課税世帯交付金(10万円/世帯) 3000万円

観光振興基本計画策定 263万円

町観光局事業負担金 500万円

《総務費》

○地域おこし協力隊員の採用はキャリアを活かせる人材とすること。

○これも海外留学支援補助金の運用については万全を期すこと。

6年度まちづくり観光局 事業計画及び予算の報告

一般事業は1億7254万円増の4億3317万円

旧町総合開発公社が今年度から定款変更により山ノ内まちづくり観光局として生まれ変わりました。事業計画の基本方針では、「新規事業の掘り起こし、今後を見据えた調査研究、既存事業の改善を積極的にすすめる」とともに、事業推進にあたっては、地域住民、観光団体、農業団体、地域企業等と行政、地域活性化起業者といった関係者と幅広く連携をはかり、地域おこし協力隊員などの人材も有効に活用しながら、組織の強化と合理的な運営、効率・効果的な事業を行い、増加傾向にあるインバウンドをはじめとする多様化する国内外観光客のニーズ、顧客満足度の向上に配慮されるよう管理運営につとめます」としています。

《一般事業の新規事業》

案内所運営事業費 828万円

エキナカ運営事業費 701万円

湯田中駅運営事業費 1611万円

観光振興事業費 4679万円

教育委員会 教育長の任命

竹内 延彦(57)

(任期)

6年7月1日から3年間

(理由)

任期満了による再任

一般事業会計予算の事業総額は、前年度の2億60

第2回臨時会・第3回定例会

公開します 審議議案と議員の賛否 令和6年第2回臨時会

上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意	結 果	小 田 孝 志	畔 上 恵 子	小 林 仁	志 鷹 慎 吾	塚 田 一 男	湯 本 る り 子	徳 竹 栄 子	高 田 佳 久	渡 辺 正 男	山 本 光 俊	小 林 克 彦	白 鳥 金 次	湯 本 晴 彦
令和5年度 一般会計補正予算（第9号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度 後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度 介護保険特別会計補正予算（第5号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度 公共下水道事業会計補正予算（第3号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度 農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度 水道事業会計補正予算（第4号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度 一般会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度 一般会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

令和6年第3回定例会

上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意	結 果	小 田 孝 志	畔 上 恵 子	小 林 仁	志 鷹 慎 吾	塚 田 一 男	湯 本 る り 子	徳 竹 栄 子	高 田 佳 久	渡 辺 正 男	山 本 光 俊	小 林 克 彦	白 鳥 金 次	湯 本 晴 彦
町道路線の認定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度 一般会計補正予算（第3号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
コミュニティバス運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
奥志賀地区地上権設定期間延長に伴う変更契約の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」を求める意見書の提出について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める意見書の提出について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育委員会教育長の任命について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

ズバリここが知りたい

論戦

総合型地域スポーツクラブ、経済の活性化、夏まつり山ノ内どんどん、町制施行70周年に向けて、不登校対策の推進、小学校1校統合問題、危機的な人口減少、新たな観光振興財源導入、水道施設・公共施設管理計画、実質ゼロカーボン宣言の実行策、旧上林スキー場の有効活用、ふるさと納税、町長トップセールス、など

6月7日、10日、11日の3日間にわたり行われ、登壇議員は9人、傍聴者は延べ22人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

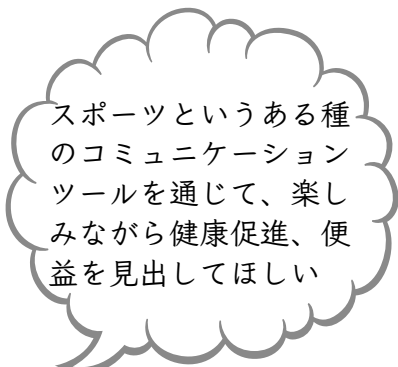
①	 志鷹 慎吾	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの将来ビジョンについて ・法人化（総合型地域スポーツクラブ）について
②	 小田 孝志	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の活性化について ・夏まつり山ノ内どんどんについて ・来年の町制施行70周年に向けて
③	 白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育について ・水道施設について ・農業振興について
④	 小林 仁	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の現状と今後の課題について ・町長のトップセールスについて ・旧上林スキー場の有効活用について
⑤	 畔上 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり支援事業の取り組みについて ・福祉乗物補助券給付事業について ・不登校対策の推進について
⑥	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもがまんなか」の教育理念具体化にどう取り組むか ・介護保険特別会計の現状と今後の見通しは
⑦	 小林 克彦	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校一校統合について ・統合中学校建設による財政への影響について ・危機的な人口減少について ・実質ゼロカーボン宣言の実行策について
⑧	 徳竹 栄子	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光振興財源導入の推進状況について ・文化・スポーツ体育施設の環境整備と充実について
⑨	 湯本るり子	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設管理計画について ・町道の補修について ・農業支援の新たな補助制度検討について ・小学校統合問題について

やまのうちスポーツクラブ運営方針は



したか しんご
志鷹 慎吾

※1 ニッチ：人や物の特徴を表す。“隙間”のイメージから「小規模で盲点的」ないわゆる「マニアック」や「風変わり」なイメージで用いられる。
 ※2 非認知能力：相手の気持ちを読み取る力、自分の気持ちを表現する力、自分を好きだと思いう気持ち、他人への思いやりの心、誠実さ。



志鷹慎吾のつぶやき

町長 つくるべき施設は集中と選択を

町長 志賀高原スキークラブとの関わり方は、町スポーツクラブと協議をし、役割分担をすることで、日本最大のスキー場である志賀高原や北志賀のある町として、幅広いスキー文化を創生したい。子どもから大人まで、お年寄りからプロまでを対象としつつ、造るべき施設は集中と選択をしていく。海外友好都市提携先と将来的にはスポーツ交流などにも発展させていきたい。

やまのうちスポーツトレーニング施設（よませ活性化センター）

を想定）の事業展開は令和7年度以降で推進していく

予定。学校部活動の地域移行は、既存のスポーツ団体等が地域移行の受皿になれない部活・クラブは、やまのうちスポーツクラブがその受皿となれるかどうか、関係者と連携しながら協議をすすめていく予定。法人化は、やまのうちスポーツクラブが主体となり、町行政も連携をはかりながら支援体制の整備を模索。施設整備に補助金の活用を模索。

生涯学習課長 チラシ、パンフレット、SNS、口コミで住民がこのスポーツクラブの存在、また活動について周知し、会員を増やしていく。

頃に始める幼児期は非常に大切な。

教育長 3つの柱を主たる事業として、今年度はスポーツ教室運営の安定化を優先し、クラブチーム運営

生涯学習課長 企業からの寄附を重点的に。

質問 教室の安定化とは会員数を増やすという意味か。

質問 財源が厳しくなるのでは。

質問 例えば大人のボクシング教室は、もちろん健康促進、生活習慣病の予防などの目的はあるが、ニッチな層には、ボクシングは手段でゴルフ上達が目的というところもある。ターゲットを絞り込んで、様々なメディアでニッチな層に最適なタイミングで伝えていくなどの工夫が必要。キッズ・ジュニアの環境は、非認知能力を育てる3歳から6歳

教育長 非認知能力の向上は、大変重要なものと認識。将来的に、幼児期の教室ができればと考える。

質問 法人化にあたり、人材確保は非常に大切。スポーツ指導者に有資格や、町が人材を育てることも必要では。

教育長 指導者は、安全面への配慮や子どもたちの発達に関する理解など、極めて重要な存在。人材確保と育成は、町内外の指導者が無理なく関わることでできる環境を整える。

質問 例え大人のボクシング教室は、もちろん健康促進、生活習慣病の予防などの目的はあるが、ニッチな層には、ボクシングは手段でゴルフ上達が目的というところもある。ターゲットを絞り込んで、様々なメディアでニッチな層に最適なタイミングで伝えていくなどの工夫が必要。キッズ・ジュニアの環境は、非認知能力を育てる3歳から6歳

教育長 指導者は、安全面への配慮や子どもたちの発達に関する理解など、極めて重要な存在。人材確保と育成は、町内外の指導者が無理なく関わることでできる環境を整える。

教育長 指導者は、安全面への配慮や子どもたちの発達に関する理解など、極めて重要な存在。人材確保と育成は、町内外の指導者が無理なく関わることでできる環境を整える。

教育長 指導者は、安全面への配慮や子どもたちの発達に関する理解など、極めて重要な存在。人材確保と育成は、町内外の指導者が無理なく関わることでできる環境を整える。



大人のボクシング教室（文化センター）

教育長 3つの柱を主たる事業として、今年度はスポーツ教室運営の安定化を優先し、クラブチーム運営

生涯学習課長 企業からの寄附を重点的に。

質問 教室の安定化とは会員数を増やすという意味か。

質問 財源が厳しくなるのでは。

質問 例え大人のボクシング教室は、もちろん健康促進、生活習慣病の予防などの目的はあるが、ニッチな層には、ボクシングは手段でゴルフ上達が目的というところもある。ターゲットを絞り込んで、様々なメディアでニッチな層に最適なタイミングで伝えていくなどの工夫が必要。キッズ・ジュニアの環境は、非認知能力を育てる3歳から6歳

教育長 指導者は、安全面への配慮や子どもたちの発達に関する理解など、極めて重要な存在。人材確保と育成は、町内外の指導者が無理なく関わることでできる環境を整える。

スキー場の課題に対して町としてどう関わっていくのか

町長 人材不足解消策を含め様々な可能性を模索していきたい

スキー場の課題は

町長 温暖化や雪不足による営業日数の減少、索道施設やスキー場施設の老朽化、スタッフの人手不足等様々な問題に直面している。

質問 国の補助事業に採択された事業に対しての補助金支給という考えは。

町長 県にスキー場の課題の話は就任当初からしている。国の補助事業については、事業規模が大きい理由により申請自体を断念するケースもあり、私案ではあるが金融団と協力しながらサポートするという考えは持っている。

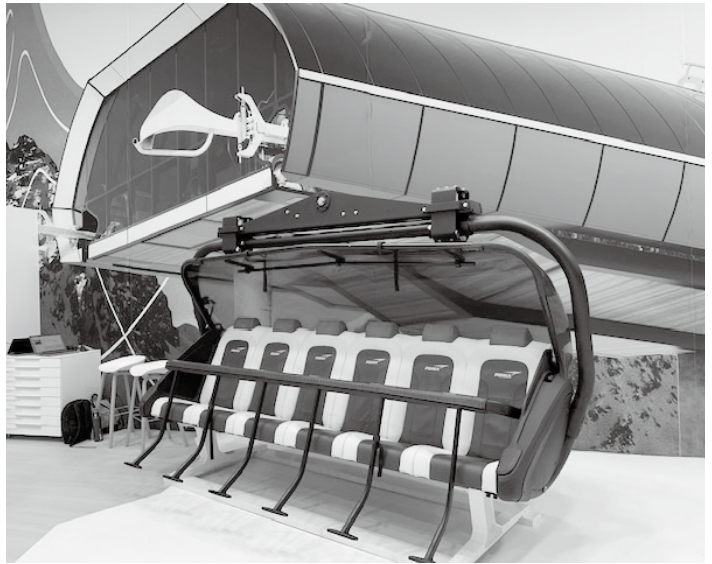
質問 修学旅行では近年の運賃上昇により当地域が敬遠される傾向にあるが、補助金支給の考えは。

町長 県とも相談して検討はしていきたいが、修学旅行



おだ たかし
小田 孝志

※特定地域づくり事業協同組合制度：人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するための特定地域づくり事業を行う事業協同組合に対して財政的、制度的な支援を行う制度。この制度を活用することで、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を作り出し、地域内外の若者等呼び込むとともに、地域事業者の維持拡大を推進することができる。



ヨーロッパ製の最新鋭リフト

のスタイルもだいぶ変わってきている。ユネスコエコパークである強みを生かした学習の場を提供するか、自然保護センターのさらなる活用とか、様々なことを模索しながら修学旅行生のプラスにしていけるよ

うな形を考えていきたい。
質問 スタッフの人手不足対応は。

町長 サービスの低下を防ぐための対策として、求人求職マッチングシステムの導入をすすめている。加えて、観光局を中心として特

定地域づくり事業協同組合制度の活用を検討している。
質問 スキー場の活性化策として志賀高原と北志賀高原を結びリフトの建設を提案する。

町長 過去には索道会社で検討されていたことは承知している。活性化策の一つとして町としてどういふことができるかを今後しっかりと考えていきたい。

湯田中駅前の活性化の検討は

町長 町の鉄道の玄関口であることから、昨年度から旅行者への情報発信強化を目的としたインフォメーションセンターの設置、湯田中駅構内の売店を再開などに着手している。

また、湯田中区および（一財）共益会と連携し、町づくり委員会の立ち上げをす

すめており、湯田中駅周辺の活性化に向けて取り組んでいる。

今年の山ノ内どんどんは

町長 昨年の反省点を改善しながら、好評だった点は拡充する。加えて、友好都市である足立区、玉村町や今年3月にパートナー提携をした美唄市からのブース出展などを計画している。

来年の町制施行70周年の計画は

町長 今までにない経済活性化、若い人たちに選ばれらるまちづくり、孫たちが帰ってきたくような町にすべく、全町的に事業を検討したい。

地域エゴが町の活性化を阻んでいるような気がする

小田孝志のつぶやき

公約の稼げる農業は1年が経過し評価は

町長 課題の解決までは 私自身道半ばと認識している



しろとり きんじ
白鳥 金次

※1 小中一貫：小学校と中学校が目指す児童生徒像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指す教育。
※2 義務教育学校：1人の校長の下、1つの教職員組織が置かれ、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校のこと。

町長 山ノ内ブランドの果

と思っている。

質問 中山間地域農業直接

支払い制度の周知および活用への支援は。

樹やキノコ、農産物のブランドディングや労働力不足などの問題解決など、1年間取り組んできたところではあるが、課題の解決までは私自身道半ばと認識している。農業などのブランドディング、情報発信、観光プロモーションやイベントの企画運営など、町一丸となつての経済活性化を目的として、この春から立ち上げた観光局についても1日も早く軌道に乗せ、町への観光面のお客さんが増えることで、農業も活性化すると思っている。さらに取り組みを加速させていきたい



農地のり面へ防草シートの補助を

産業振興課長 この制度は

条件の不리한中山間地域などにおいて、集落等を単位に農用地を維持管理していくための協定を締結し、それに従って、農業生産活動などを行う場合に面積に応じて一定の額を交付するものです。

質問 農地のり面に防草シートを張りたいが、制度の対象になるか。

産業振興課長 この制度を

活用している地域では、令和2年度より順次設置して草刈りの労力削減をはかっている。協定が結ばれないと活用ができないので、町に相談していただきたい。

1 小学校の 校統合は

質問 統合小学校の設置場所はどのように決定しているのか。

教育長 設置場所については、従来中学校敷地を活用

することを基本に検討がすすんできたが、先の総合教育会議において、既存小学校施設の活用を含めた設置場所の検討をすべきとの町

長からの意見があったので、このたび改めて設置場所等について検討、協議を行う山ノ内町小学校適正規模適正配置等審議会を開催し、中学校敷地活用案と既存小

ワクワクや楽しい～
気持ち、人を動かす
最大のモチベーション!!
持続的発展のエンジン

ビューン

白鳥金次のつぶやき

学校施設の活用案についてより丁寧な検討を行う予定

質問 審議会において小学校適正規模適正配置に係る基本方針の作成にあたり様々な項目についても検討をされるのか。

教育長 場所のみならず、

従来教育委員会としては小中併設という方針を大事にしてきている。その中には小中一貫、義務教育学校といういくつかの考え方が含まれているので、そういったこともしっかりと基本に置きながら、将来的なビジョンを盛り込んだ答申を出していただくよう考えている。

町内行事への参加が少ないとの声が届くが

町長 組織で分担し行事が滞りなくすすむようつとめる

【質問】ふるさと納税の現状と課題は。

町長 令和5年度の額は3億8867万4000円で前年比4744件(7.7%増)4842万4000円(14.2%増)となった。現地決済型ふるさと納税・旅先納税の導入と、主力ポータルサイトへの広告を実施した成果。引き続き提供事業者や返礼品の種類を増やす改善をしながら、当初の目標7億円を目指す。令和5年の国の基準改正により、返礼率が実質下がるため、使途を明確にしたり、新たな返礼品の拡充をはかるなど寄附者の期待に応えたい。旅先納税は、新しい取り組みなので、定着までは数年必要。

【質問】トップセールスの成果は。

町長 オーストラリアからのスキーヤーは昨年対比14.9%増。オーストラリアでのセールスの効果では。



こばやし ひとし
小林 仁



国際理解教育は平和の礎 (中学校のミーティングルーム)

すぐに目に見えるものではないが継続的にPRしていくことで効果が得られる。PRだけでなく経済的な営業活動もトップセールス。企業誘致や町内への積極投資を多方面と懇談し相談している。違う角度では湯田中駅前のインフォメーションセンターに自ら数時間立ち、外国人のお客様を案内した。役場の職員や町民一人ひとりもみんなが立場関係なく、山ノ内町の魅力を伝えるセールスを日々すべきと考える。海外へのPRは必要。

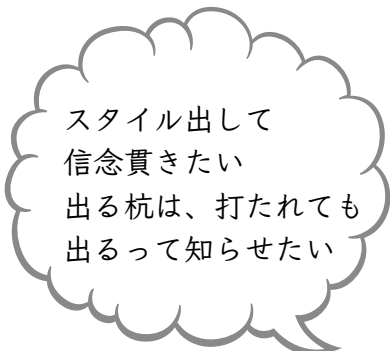
【質問】教育に関するトップセールスは。

町長 ベイル町とはすでに子ども達の交流に関して具体的にすすめることで合意している。まずは、今締

結しているベイル町・密雲区、そしてこれから締結しようとしているサン・ジェルヴェ・レ・バン市とのしつかりとした関係を構築しつつ、オンラインでスタートし、リアルな交流を目標としながらすすめていく。

【質問】国内外への出張ばかりで町内の行事に参加しないとの批判的なご意見も聞こえてくるが。

町長 可能な限り顔を出させていただいている。全ての行事に出席できないため、副町長に出席してもらおう行事もある。しっかりと役場の組織の中で分担し、必要な理事者や職員が参加することで町の行事が滞りなくすすむように、今後もつとめていきたい。



スタイル出して
信念貫きたい
出る杭は、打たれても
出るって知らせたい

小林 仁のつぶやき

健康ポイントアプリ導入の考えは

町長 最も有効・効率的な方法を模索していく



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

※健康ポイント事業：特定健診・健康診査を受診することを必須条件として、がん検診等の受診や健康教室等の参加、自分で立てた健康づくりのための目標に取り組むことをすすめる事業。実践内容によりポイントが貯まり、貯まったポイントにより様々な特典が得られる。

質問 健康ポイントの利用状況は。

健康福祉課長 ポイントカード利用券発行数は、令和3年度432人、4年度457人、5年度512人と年々増加傾向にある。

質問 ポイントカードによる効果や評価および課題は。

健康福祉課長 貯まったカードを提出する際、アンケートを行っている。「あなたの健康づくりに役立ちましたか」との問いに「役立った」と答えた人が92%おり、中でも、保健指導への評価が高かった。この事業をきっかけに健康に対する意識向上がはかられている。

と考える。課題としては、社会保険等に加入されている方々の申請が少ないこと。周知という観点から今年度、

質問 スマートフォンアプリの導入は。

初めて「広報やまのうち」4月号に健康ポイントカード本体を掲載した。

健康福祉課長 申請の利便性向上やデータ管理の効率化に寄与する一方で、本

●証明印は各集団健（検）診会場又は健康づくり支援係で押印します

内容	ポイント	証明印	内容	ポイント	証明印
【必須】令和6年度健康診査受診	50		肺	10	
結果報告・保健指導	20		胃	10	
健康診査を3年以上継続して受診	5		大腸	10	
血圧測定（3か月以上）	5		子宮	10	
体重測定（3か月以上）	5		乳房	10	
運動（3か月以上）	5		前立腺	10	
適正体重(BMI18.5～24.9)または健診時から1kg以上減った	5		骨	10	
適正腹囲(男85cm未満、女90cm未満)または健診時から1cm以上減った	5		歯科 (町検診または後期検診対象者)	10	
禁煙・たばこを吸わない	5		尿中塩分測定	10	
減塩商品の購入または減塩協力店で減塩メニューを食べた	1回のみ 5		献血	1回のみ 5	
健康づくり講演会または心の健康講演会参加	10		予防接種 (インフルエンザ・高齢者肺炎球菌・風しん)	いづれか 10	
動脈硬化予防セミナー (1回・2回・3回・4回)	1回 5		ジェネリック医薬品の利用	10	
各種教室参加（町主催の健康教室、介護予防教室）	1回のみ 5		その他自分の目標 []	5	
			ポイント合計		

*ポイント付与期間は令和6年4月1日から令和7年1月31日まで

健康ポイント表（広報やまのうち 4月号）

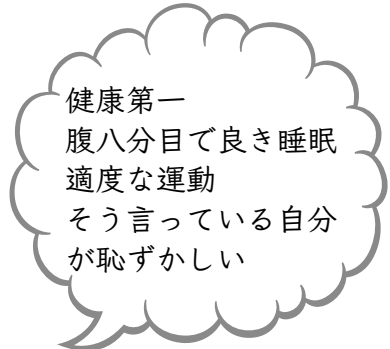
健康診査等を受診されているかどつかなど確認が取れない。高齢者に配慮して紙とアプリを両立させる場合、重複申請のリスクが懸念される。若者に対しては、アプリから動機づけを行うことは有効なので効率的な方法を模索し、今後もより良い健康ポイント事業を目指していく。

質問 福祉乗り物補助券給付金の増額が物価上昇にともない必要と考えるが。

健康福祉課長 電車やバスなどの利用料金は据え置きとなっているため、今年度の増額は考えていない。

質問 不登校対策の推進は。

教育長 昨年度の長期欠席児童・生徒数は小中学校で約15人の状況。理由は教育への価値観の多様化、ネッ



健康第一
腹八分目で良き睡眠
適度な運動
そう言っている自分が恥ずかしい

畔上恵子のつぶやき

ト普及の環境変化による生活リズムの乱れ、学校生活における人間関係の苦しさなどの背景がある。

現状の学習・生活環境を児童・生徒の多様性に寄り添えるよう改善し、子どもをまんやかにした協力体制をすすめることが不可欠。

質問 どのような支援を行っているか。

教育長 指導主事や児童相談員、スクールカウンセラーが学校と連携をしながら児童・生徒に寄り添った個別支援を行っている。

質問 「第3の居場所」の必要性をどう考えるか。

教育長 当町として、初めて学校以外に児童・生徒の学びの場となる「町教育支援センター」を開設する予定で準備をすすめている。

子どもの権利条例制定の考えは

教育長 こども基本条例（仮称）を今年度中に策定予定

「子どもがまんなか」とは

質問 「子どもがまんなか」の教育理念具体化につづり組むか。

町長 昨年4月にこども家庭庁が発足し、国を挙げて「子どもまんなか」の取り組みがすすみつつある。同時に施行されたこども基本法の基本理念に基づき、自治体においても、子どもの最善の利益追求や子どもの意見表明の尊重をはじめとする子どもの主体性や権利を最大限に尊重し、当事者の意見を反映できる仕組みづくりが子どもに関する全ての施策において具現化するよう求められている。

質問 「子どもがまんなか」は、こども家庭庁が言い出すずっと以前から竹内教育



わたなべ まさお
渡辺 正男



意見表明は子どもの大切な権利
(町こども議会 2018年11月)

長は言い続けてきた。その竹内イズムが、この町であり発揮されていないのは、と不安に感じている。

教育長 私自身「子どもがまんなか」という言葉は、大変大切にしている。町にお世話になって1年以上たつが、十分に成果が出ていないというのは、大変申し訳なく思う。平易な表現で代えれば「子どもと一緒につくる」ということと常に意識している。子どもの主体性を何よりも尊重する。これが、今回こども基本法の中でも子どもの意見表明という、重要な原則につながる

子どもの権利条例制定は

がる考えだと思っている。

教育長 子どもの権利条約とこども基本法の精神にのっとり、こども基本条例（仮称）について今年度中の策定を予定している。なお、今年度は、第3期子ども子育て支援事業計画の策定年度となっており、子ども子育て会議にて、計画内容を審議した上で予定なので、この会議で併せてこども政策全体の充実を目指して包括的に検討していきたい。今後、子どもたちの意見を丁寧に聞いていく。こども基本法にも、子どもや福祉の施策に、当事者の意見をしっかりと反映するということが明記されているので、理念だけではなく、町

小学校統合の 情報開示と 意向調査の考えは

教育長 適正規模適正配置等審議会での審議内容は、町ホームページや広報などでも公開し、広く情報発信していく。住民懇談会等の開催で、より丁寧に説明し、意見をいただきたい。現時点では、町民全体への意向調査の考えはないが、懇談会等を通じて、子ども、保護者や各地区住民の意向を丁寧に把握していきたい。

いよいよ
パリ五輪開幕！
今回はどんなドラマが
待っているのか？
ワクワクするけど、
寝不足には要注意

渡辺正男のつぶやき

小学校1校統合の進捗状況は



こばやし かつひこ
小林 克彦

町長 統合に向けて協議し 改めて検討する

質問 適正規模適正配置の審議会委員の公募があったが、戻して何を考えるのか。

教育長 場所等の見直しが必要と理解しているため。

質問 令和3年2月に総合教育会議で基本方針を決定し各地で説明後、令和3年8月に場所は中学校敷地と決定した経過だが。

教育長 適正規模適正配置の内容は現在も進行しているものと考え、場所等の乗せ替えを追加したい。

質問 場所については、教育委員会が合意形成した民意と、町長の考える民意の違いであり、諮問的な住民投票を行う考えは。

教育長 現時点では考えていない。

質問 町長の理想の木造平屋建てに、西小学校跡地を

利用してつくる考えは。

町長 私の思いとして発言したが、費用面を考え1回撤回し中身に集中したい。

質問 西小に南小のみを統合する場合の概算費用は。

教育長 教室の改修やスクールバス等で約5億円程度を見込んでいる。

質問 西小に今後年間に必要となる費用の概算額は。

教育長 築39年の施設であり、約30億円程度を想定している。(東小は含まない)

質問 新築の約50億と約築40年の施設に数度にわたる改修費約30億では、国庫の補助率等を考慮すると、費用面からどちらが妥当か。

町長 4月から新しく補助金も設定した。また、ロードマップは策定中。

質問 環境問題も多角的視野が重要。日経新聞5月19日一面トップ記事で「重く

教育長 予算は町長部局の判断に委ねる。

質問 実質ゼロカーボンの具体策はどうか。

町長 地球温暖化の推進に關する法律に基づき、地方公共団体実行計画(区域施策編)の策定業務に取りかかる予定。

質問 県の戦略は令和7年改正省エネ基準の適合義務化に向けて、ゼロエネ住宅助成金の利用をすすめるというが、町はどうか。

町長 4月から新しく補助金も設定した。また、ロードマップは策定中。

質問 環境問題も多角的視野が重要。日経新聞5月19日一面トップ記事で「重く

なるEV・環境に重荷・タイヤ摩耗粉塵3割増、各地で規制議論」報道された。EV車は生産過程で既存車よりCO₂の排出量が多いことは事実。航続距離をのばすために、バッテリーを多く積み、車両重量の増がタイヤの摩耗を増し、PM2.5の粉塵を発生させる。これは大気汚染、重大な環境負荷。売れ筋の国産車は車両重量1670kgでバッテリーは440kg。町長は公用車をEV車に替えたが、デメリットの調査はされたか。

町長 調査はしていない。

町長 調査はしていない。



小・中連携校はまだ遠のく

会議は踊る、されどすすまず

小林克彦のつぶやき

宿泊税導入にどう取り組むか

町長 町内検討委員会を開催していく

質問 県の動向を踏まえ、今後どうすすめるか。

町長 独自税制度の導入を検討している県内5市町村と連携し、意見交換など踏まえ検討委員会を開催する。

質問 宿泊税の当町の試算額のシミュレーションは。

町長 日本交通公社の試算では県全体で約40億円、当町は約2億円弱である。

宿泊税導入の課題は

町長 宿泊事業者の理解が重要。使途の議論が必要。

質問 税率には定額・定率制がある。税率は県と同じか、町独自でも良いのか。

町長 国の指導は、県・町2つの税金は認めない。一本化になる方向である。

質問 税金は県と市町村に分配されるシステムである。配分率はどのようになるか。

町長 県と市町村で充分に議論していかねばならない。

修学旅行・合宿等の課税免除の対応を

町長 課税免除している自治体もある。当町もできると思うが、事業者の皆様と

議論して決めていく。

質問 羽田空港からバスで往復500km以上の当町は、菅平との距離の差から選択外の可能性も出てきている。県観光振興財源検討部会の諮問報告書に、課税免除を設けない場合は支援制度創

課題	
観光税・宿泊税の導入について	
1. なぜ宿泊税なのか	<ul style="list-style-type: none"> 観光財源を確保するために、宿泊税を導入した方が自治体にとって財源確保につながる 交付金を減らさずに町の純粋なる財源増になる 観光関連に対して利用できる ふるさと納税よりも安定している
2. 宿泊税の使い道など	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の維持 観光案内所の整備・維持 観光プロモーション
3. なぜ今なのか	<ol style="list-style-type: none"> ニセコ・倶知安町の状況 <ul style="list-style-type: none"> 倶知安町はすでに2%で導入済み ニセコは導入手続き中 両町合わせて6億円弱の予算 他の自治体の状況 <ul style="list-style-type: none"> 白馬村・野沢温泉村などは検討をスタートした 長野県の状況 <ul style="list-style-type: none"> 検討をスタートした 山ノ内町でどう進めるか <ul style="list-style-type: none"> 進め方 町内の関係団体を入れた検討委員会を設立?

町と観光事業者との懇談会資料（令和5年12月7日）

出の検討を示している。

町長 宿泊税導入の協議で議論になってくる。十分検討し、効果的なサポートを議論し支援をしていきたい。

質問 令和4年度の外国人客数の資料に長野県は18万人で10位、9位の県の34万人と大差が見られた。また、長野県は宿泊施設数で全国

1位であるが施設稼働率は最下位レベルであった。観光客の方にも納得される税の導入の検討を要望する。

町長 付加価値を創り、お客様満足の観光地にしたい。

質問 宿泊事業者の報奨は、事務的な負担増に対する処理を設けている。県と協議すべきと考えている。

スポーツ施設の充実を

質問 スケートボードやボルトリングなどできるスポ

ーツ施設の必要性は。

町長 近い将来、施設を計画したいと考えている。運営経費、利用率向上を考えた複合的な活用、例えばジスターセンターとして特色ある施設と考える。

レクリエーション系施設の取り組みは

町長 観客席を設けた大型イベント、大会が開催できる施設は難しい。外貨を稼げるか見極め計画する必要と考える。

質問 住民の健康増進のための投資は、町民と町の財産となると考えるが。

町長 高齢者のリハビリで温水プールは有効。使える。必要な施設を集約しビジョンを踏まえ、プランを作り計画性を持ってすすめたいと考えている。



とくたけ えい こ 徳竹 栄子

ここ数年癒される私の大好きな山野草に目を止めていない、ふっと思った、心にゆとりを持たなければと

徳竹栄子のつぶやき

大悲殿と世界平和大観音をもっと大事に活用を



湯本るり子

※パッチング舗装：道路の路面上にできたひび割れやへこみに、アスファルト混合物などを使って穴埋めする補修工法のこと。

5月29日「食料・農業・農村基本法」が改正された。食料自給率38%のこの状態は心配

湯本るり子のつぶやき

町長 現在 大悲殿大規模改修の予定はない

質問 町の公共施設である大悲殿について大規模改修の計画はあるか。

総務課長 建築から80年以上経過している。町公共施設個別計画の劣化評価の結果では、4段階中4で著しく劣化している判定。譲渡が廃止の検討施設となっている。

質問 耐震診断はされているか。

総務課長 個別施設計画の中では不明となっている。

質問 現在インバウンドのお客さんが訪れている。ロシアのウクライナへの侵略戦争がまだ終わらない中で世界平和観音は平和のシンボルとしてもっとアピールしていったらどうか。

総務課長 まちづくり観光局に管理委託している。併設する世界平和観音とともに観光資源でもあるので関係機関と連携して対応したい。

質問 宗教法人の運営状況をどう把握しているか。

産業振興課長 宗教法人大悲殿の役員は現在10人。高齢の方々が対応されている。役員報酬は、ここ10年

間無く、最低限の維持を行っている。コロナ感染症流行以来団体客は皆無となり、厳しい状況であることは確認しているが、宗教法人の運営に対し町行政が関わることはできない。



老朽化が懸念される大悲殿

質問 (仮称)湯田中温泉公園整備との関連は。

総務課長 旧社会体育館の解体にともない防災機能を持たせた公園を整備する計画となっている。関連性について現時点では明確な答弁ができない。平和の丘公園一帯の効果的な利用を考えると総合的な観点から研究する必要がある。

町道の補修は

質問 町道の舗装修繕等を計画的にすすめる考えは。

町長 毎年地区ごとに実施されている土木見回りや行政懇談会などで要望をお聞きし、地区のバランスや優先位を考慮し修繕をすすめている。定期的に町全体の町道を点検し、必要に

※じてパッチング舗装や職員による修繕対応もしている。

小学校統合問題

質問 今後どうすすめるか。

教育長 今後改めて統合のあり方について審議するため、適正規模適正配置等審議会を開催し、設置場所等の検討を早急にすすめたい。

質問 教育委員会だけで決められる課題ではないと思

うが。
教育長 審議会と並行して住民懇談会を開催し、さらに保護者など当事者と住民の意向を広く聞きながら、議論結果を踏まえ、総合教育会議で協議し教育委員会として責任を持って決定したい。

皆さんからの陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第1号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書	長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢裕夫 佐野達夫 細尾俊彦 小林吟子 松丸道男 北沢 忠	採択 全会一致 (意見書送付)
陳情第2号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」を求める陳情書	長野県教職員組合 下高井支部山ノ内単組 執行委員長 小林一久	採択 全会一致 (意見書送付)
陳情第3号	「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める陳情書	長野県教職員組合 下高井支部山ノ内単組 執行委員長 小林一久	採択 全会一致 (意見書送付)
陳情第4号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	長野県教職員組合 下高井支部山ノ内単組 執行委員長 小林一久	採択 全会一致 (意見書送付)

議会全員協議会

第6回（4月9日）

- (1)執行機関側からの提出案件 なし
- (2)議会側からの提出案件
 - ①岳南広域消防本部および中野消防署庁舎について
 - ②第17回議会報告会結果報告について
 - ③教育委員会からの申入書の対応について
 - ④令和5年度議会議員活動費会計報告について

第7回（4月25日）

- (1)執行機関側からの提出案件
 - ①令和6年度一般会計補正予算（第2号）
- (2)議会側からの提出案件
 - ①議員のコンプライアンスについて

第8回（6月4日）

- (1)執行機関からの提出案件
 - ①海外留学支援補助金交付要綱制定について
 - ②「チョイソコやまのうち」アンケート調査結果について
 - ③起業チャレンジ支援事業補助金交付要綱改正について
 - ④フランス サン・ジェルヴェ・レ・バン市との国際友好交流協定について
- (2)議会側からの提出案件
 - ①議会先例集について

第9回（6月18日）

- (1)執行側からの提出案件 なし
- (2)議会側からの提出案件
 - ①今後の議会活性化について
 - ②一般質問に関する注意事項について
 - ③メール投稿による回答書の提出について

○メール投稿に小林克彦議員が謝罪

3月27日（水）の総合教育会議において、私の傍聴の姿勢が悪いとのご意見をいただきました。
会議の傍聴者には「傍聴者のみなさまへ」と

いうチラシをいただきましたが、この注意事項の趣旨に反した行動が、当時、私にあったことは事実です。

他の傍聴者をはじめ、町や関係各位に対してお詫び申し上げます。
大変申し訳ありませんでした。

総務産業常任委員会

6月12日に総務産業常任委員7人で、総務課、未来創造課、産業振興課、建設水道課に関係した施設を学ぶため、管内視察を実施しました。

湯田中駅、エキナカ山ノ内インフォメーションセンター

観光局が運営している湯田中駅周辺の状況を視察しました。

インフォメーションセンターは、土・日曜日も営業しており朝は10時から夜は6時まで。利用者数は、5月末まで延べ1万4029人、シーズン中（12月～3月）では月平均で2678人でした。日本人の利用率は48.5%であり、意外と多いことを実感しました。6月下旬には翻訳ディスプレイを設置予定。



エキナカ山ノ内

エキナカ山ノ内は、4月20日オープン。水・木曜日以外は営業しています。

平和の丘公園

平和の丘公園には、世界平和

大観音、弥勒石仏、煙草地蔵そして御本尊や西国三十三番礼所観音の写し等が保存されている大悲殿があります。現在の観音様は2代目であり、戦後に再建の聲が高まり、町民、全国の有志有縁の人々の多大な協力により、昭和39年世界平和の祈願を込め建設されました。施設は老朽化しており、一層の観光地化も含めた検討の必要性を感じました。



土砂災害対策事業（安代坂）

昨年度行われた工事は「もたれ式擁壁工」といい、既設の石積み崩落防止が目的です。

幅14・27m、請負金額は1460万円。継続事業として今年度も実施予定、幅は30mの計画です。

安代坂は、今後拡幅の計画があり、中型マイクロバスの交互通行が可能となり、歩道は張り出しを予定しています。



志賀高原自然保護センター

自然公園や自然環境に関する情報提供の拠点として、蓮池の98会館内に設置された施設です。昨年度県からの移譲を受け、この4月から町で管理することとなりました。実際の管理運営は「志賀高原自然保護センター運営協議会」に委託しています。

建設から25年以上を経過し、展示物の老朽化にともない施設の魅力が減退しているため、展示施設の改修を計画。今年度は設計を行い、来年度に改修工事を実施。事業費は2億円の予定、令和8年度リニューアルオープン

ンします。新たな観光拠点としての再出発に期待。

仏岩水源

町庁舎内で地図、図面等にて説明を受けました。

町内には18の水源があります。通常の管理は週に1回ほどの現地確認ですが、近年では地球温暖化の影響によりゲリラ豪雨が多く、その都度現地に行き様子を確認、必要に応じ堆積物の除去作業を行っています。特に秋は落葉のため、2日に1回は現地に行かなければなりません。

役場から現地までは約1時間を要し、うち30分以上は徒歩です。水源の維持管理に工夫の必要性を感じました。



仏岩水源（堰堤取水）

社会文教常任委員会

6月12日に社会文教常任委員6人で、こども未来課、生涯学習課、健康福祉課、住民税務課に関係した施設を学ぶため、管内視察を実施しました。

「確かな学力や生きる力を育み、ふるさとに誇りをもつ生徒に」との学校教育目標を掲げ、さらに令和6年度は、①共に学ぶ②自ら考え、行動する③仲間や地域とつながる、として取り組み、今年度はA・L・T2人を配置。生徒との授業が活発に行われ生徒の自主性を大事にしています。また、以前は相談室だった教室を「通級サテライト教室」とし、週2回活用されています。不登校対策では、生徒の気持ちにより添ったかたちで授業が受けられるよう配慮がされ、生徒が安心できる場所になっています。今後誰一人取り残されない学びの保障がさらに重要になります。



山ノ内中学校

南小学校

西小学校



特色ある活動として、「レッツ・トライ」いろいろなことにチャレンジしよう」と全学年が4つの目標に挑戦しています。①地域講師から学ぶ体験活動②りんご果樹栽培活動③生活科・総合的な学習の時間として米づくりや地区探検、交流活動等、様々な取り組み④地域の方の話を聴く会など積極的に行われています。1クラスが9人から16人と少人数ですが、みんな楽しく学んでいます。また、クリーン作戦と題して児童が道に捨てられたゴミを拾い集め登校する取り組みもしており、大人である私たちの行動を考えさせられました。



北信保健衛生施設
最終処分場（中野市大俣）
平成16年10月竣工（当初計画容量3万8000m³）され、平

「考える子」「やさしい子」「やりぬく子」の教育目標を掲げ、異学年交流を通じお互いが学びあえる授業をしています。また、A・L・Tの先生方も各学年児童と、体育やその他の授業で関わりながら交流を深めています。教室に行けない児童には、そっとより添いながらきめ細かな配慮をしています。地域との交流を学びの場として、「ひと・もの・こと」から得た体験や人との繋がりを大事にし、その様子を地域に発信しています。

保健センター

健康福祉課では、特定健診の受診状況や受診率向上のための施策などを伺いました。

高齢化がすすむ中で特定健診受診率は年々増加傾向にあり、健康に関心があることを伺い知ることが出来ます。また、センター内には新たに授乳室をはじめみんなのトイレ等リニユールされています。

住民税務課

定額減税は、令和6年分所得税および令和6年度分個人住民税が減税されます（6月から開始）。

コンビニ交付状況では、住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄本・戸籍抄本等が必要な時、また、住民税などの支払いなどもコンビニでできる利便性があり需要も増加しています。

また、マイナンバーカード普及状況は、7276人。

友好提携に向けた覚書に調印

令和6年4月14日～20日

山ノ内町議会議長 湯本 晴彦

1. サン・ジェルヴェ・レ・バン市 (Saint Gervais Les Bains)とは

(1) 概要

- ①面積：87.2 km² (山ノ内：265.9 km²)
- ②人口：5,600人ほど
- ③ふもとの標高約580m
- ④スキー場は1000m～2500mの間にある。
フランスでは3番目に大きいスキー場。
- ⑤主要産業：観光業が9割



サン・ジェルヴェの市役所
(HOTELというのにはホールのような意味で役所になる)

(2) 特徴

- ①フレンチアルプスと呼ばれる、フランス側のアルプスのふもとの町。アルプス最高峰のモンブラン山頂(4810m)はこの町の土地になる。
- ②隣にはシャモニーという町があり、こちらからもモンブランが見渡せて、こちらの方が有名になっている(町名にも使っている)。
- ③レ・バンとは、温泉という意味。実際にふもとには温泉施設がある。市の持ち物で、運営は化粧品会社のロレアルでやっている。フランスの場合は湯治に社会保険が使える。医療となるとかかった費用が全額戻る。

(3) 市政・議会について

- ①市長は議会から選出される。
- ②現在の市長ジャン・マルク氏は、20年もやっている。
- ③こども議会があり、選挙で選ばれた児童は、1年間テーマを決めて議論する。

2. 今回の覚書について

(1) いきさつ

市長のジャン・マルク氏がスノーモンキーを

見山ノ内町に訪れて、サン・ジェルヴェ市と似ていると感じた。その後、3月に町長がニセコに行った時に、ローヌ・アルプ州の議長ボキエ氏に出会ったことで、グルノーブル(オーベルニュ・ローヌ・アルプ州の都市)で、スキー場開発関係の展示会が開催されることをきっかけに、その場でセレモニーをしようとなり、山ノ内町から伺った。

(2) 調印式

オーベルニュ・ローヌ・アルプ州の副議長の仲介により、サン・ジェルヴェ市と山ノ内町の友好提携に向けた覚書の調印式を行った。

3. サン・ジェルヴェ・レ・バン市との会合で今後の構想として出たこと

(1) こども議会および学校の交流

- ①山ノ内町のこども議会とサン・ジェルヴェ市のこども議会と交流するのはどうか。
- ②各小学校で、まずは町の紹介ビデオを紹介しあうなど、オンラインでの交流はどうか。

(2) 文化や温泉の交流

- ①フランス人は日本の文化にとっても興味を持っており、文化を知るだけでも喜ぶと言っていた。
- ②ロレアルが温泉を活用して、化粧品やスキンケア商品を開発している。
- ③温泉は38℃とぬるめだが、ジャグジーやサウナなど20か所以上あり、非常に充実した施設であった。
- ④山ノ内町の入浴剤に興味を示していた。

(3) スキーリゾート同士の交流

- ①スキー場は公社のような存在の運営会社が経営している。
- ②気候変動についても興味を持っていた(今年はこちらも小雪であった)。
- ③国際共通リフト券を発行する案も出た。



駅のホームとつながっている建設中のゴンドラ

須賀川の竹細工と

竹細工振興会の今

「作り手から使い手へ」

須賀川竹細工の発祥

須賀川で作られていた根曲り竹の竹細工は、県の歴史の中で、正徳年間（一七一一年〜一五年）に、戸隠村（長野市戸隠）から渡り住んだ徳武三兄弟によって伝えられたと言われているが、その後各地の文献によって根曲り竹の全般が伝えられたのではなく、箆編の細工が伝えられたのではないか、箆や箕などは作られていた事が証明されている。

竹細工振興会の発足

昭和49年に公布された「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいて国が指定したものが伝統的工芸品である。県は、この法律が制定されると各地で作り守り続けられていた伝統産業に発掘を注ぎ、昭和50年から62年の間に14品目がその指定を受けた。竹細工の産地として指定されたのが、この指定を受ける6年前に発足した山ノ内町須賀川竹細工振興会である。



須賀川竹細工振興会 相談役 田中久夫

ぼて市の開催

プラスチックの出現、生産者の高齢化などで竹細工の価格は低迷していた。「竹細工をなくさない限り貧乏はなくなるらないよ」など多くの反対と罵倒の声の中で開催した、公民

館と振興会と婦人会で「ぼて市実行委員会」を立ち上げ1万人を超える人出となり振興会発足の正しさが証明された。

生活で活かされた竹細工

消費者と直接顔を合わせることによって振興会会員は生活の中で活かされている実態を知ることになり、作る物が自然と広がっていった。そのことが雑誌「クロワッサン」の誌上販売に繋がりました。NHK雑誌「今日の料理」に記載された一枚の写真と電話番号で全国から注文が殺到した。

国際的な評価を受けた竹細工

冬季長野オリンピック・パリンピックでの実演・体験の取材、大分県で開催されたアジアと日本の竹文化企画展に出展し須賀川の高い技術が評価された。

今思うに

なぜもう少し早く消費者と声を掛け合う販売に気づかなかったのか自分で作る作品になぜ自分で値を付けられなかったのか？を交に思わなかったのか。



県立歴史館館長であった市川健夫氏が昭和28年に須賀川の現状を調査し、「須賀川の竹細工生産は将に奴隸的国内工業と言わざるを得ない」と言っている。黙々と作らされた物が安く買われ材料代で消えてしまう。前借しての生活あまりにも悲しい。

竹細工への思い

須賀川竹細工振興会は、人間しか持っていない作り出す喜び、使う喜びのために今のまま続けていく。

（記・田中久夫）

平成6年 国の伝統工芸品産業協議会より功労者褒賞
令和4年 長野県文化財保護協会より功労者団体表彰
令和4年 信濃毎日新聞社文化事業団より文化財保護厚労省など受賞した。

編集後記

2023年が観測史上地球が最も暑い夏となったことが正式に発表された。今年の夏もその傾向は継続しているという。暑さは、観光・インフラ・医療費・エネルギーコストなど経済にも甚大な影響を与えらるるとされるがそれどころか、猛暑が連鎖的に引き起こす天候不順、気候災害などが消費支出に及ぼす影響も危惧される。観光と農業が基幹産業のわが町にも少なからず影響があることが懸念されるが、強大な自然の力にどこまで対抗できるのか懊悩するほか術がない。自慢の果樹や避暑に最適な高原、この町の魅力が奪われることのないように、今からきちんと環境問題に取り組み、未来の子ども達にこの素晴らしい町を託したいと思う。梅雨明けと共に30°を超える日が続く天気予報を見ながら敢えて叫びたい。「さあー！いっしょに夏!!!」（小林 仁）